

## 令和元年度 民間事業者研究会活動

### ■活動方針

近年、「まちづくり」という言葉は広い範囲で使われます。人口減少・高齢化、防災・減災化、就労形態の多様化、外国人就労の拡大、観光立国化、e t c . . .、こうした様々の課題解決や可能性実現のため、まちづくりに着目する必要性が増していると考えられます。

土地区画整理事業については、昭和、平成という時代を通して、旺盛な宅地需要に応えるため、多くの民間事業者が新市街地を中心に事業に取り組んできました。そして、平成5年度には、公益財団法人区画整理促進機構の中に、土地区画整理事業に携わる民間事業者をメンバーとした民間事業者研究会が創立され、民間事業者による土地区画整理事業の促進に向けて様々な活動を開始いたしました。本研究会の活動も、26年目に入りますが、これまでに区画整理手法の研究、各社の交流、国、地方公共団体との意見交換など、参加各社のさらなる事業推進に寄与してまいりました。

新しい『令和』の時代を迎えた今年度の民間研は、広い意味での「まちづくり」に関わる人々が何を考えているのか、アンテナをより高くして情報収集を行います。業界の垣根を越えた意見交換会や講演会を開催し、新たな時代に求められるまちづくり、土地区画整理事業とは何なのかについて取り組んでまいります。

### ■活動概要

総会	7月26日開催、17社52名参加
役員会	7月26日開催、9社10名参加
活動報告会	7月26日開催、18社39名参加
幹事会	6回開催
分科会	「2030市街地整備のあり方」検討分科会（その2） 18社33名参加
	【テーマ】 昨年度に引き続き、2020東京オリンピック・パラリンピック開催から10年後の未来について研究を進めてまいります。これまでの活動（ゲストスピーカーのプレゼンや意見交換、先進企業視察、ヒアリング）から掴んだ未来の兆しを整理し、そこからいくつかを素材として抽出し、さらに議論を掘り下げていく予定です。 次にそうした素材を社会に実装し役に立つものへと進化させるために、まちづくりはどのような支援をすべきなのか。ハード面とソフト面の両面について研究します。最終的には2か年の集大成として報告書をまとめてまいります。
講演会	「生活者発想による未来洞察プロジェクト」（1月14日） 株式会社博報堂 ブランド・イノベーションデザインストラテジックディレクター 根本 かおり 氏
意見交換会	①国土交通省都市局市街地整備課（第1回:6月28日、第2回:12月10日） ②一般財団法人都市農地活用支援センター（2月10日）
現地視察会	①KOIL&柏の葉スマートセンター（千葉県柏市）（11月12日） ②パナソニック人工光型植物工場（福島県福島市）（11月27日） ③渋谷駅街区土地区画整理事業（東京都渋谷区）（1月14日）

